
名 称： 第35回日本農業工学シンポジウム
「人手不足問題の解決と食品・農産物の安定供給に貢献する最新ソリューションと事例の紹介」

趣 旨： 食品産業や農業分野において、人手不足問題が大きな問題になっており、その対策が、国・国の機関、民間企業等において精力的に行われています。本シンポジウムでは、「特定外国人」に係る新制度を始めとする労働力不足を克服するための各種施策の概説、IoTによる農業のスマート化による省人化、機械化・自動化による生産現場における生産性や品質の向上、流通分野における合理化・高度化等の最新のソリューション事例を紹介します。

主 催： 日本農業工学会
担当学会： 農業施設学会

日 時： 2019年10月16日（水） 13:00～16:50（受付開始12:00～）

参加費： 2,000円（含資料代）

場 所： 東京大学フードサイエンス棟中島董一郎記念ホール（東京都文京区弥生1-1-1）
<https://www.a.u-tokyo.ac.jp/nakashima/>（固定席数78）

プログラム（敬称略、タイトルは仮）

12:00～ 受付開始
総司会 農業施設学会事業計画委員会委員長 水谷 孝一（筑波大学）

13:00～13:15 開会の挨拶
日本農業工学会会長 塩沢 昌（東京大学）
農業施設学会会長 川越 義則（日本大学）

13:15～14:00 上河内光秀（農林水産省）
食料産業局 食品製造課 課長補佐（食品第3班）
「食品製造業における労働力不足を克服するための施策について」

14:00～14:45 八谷 満（農研機構）
農業技術革新工学研究センター 高度作業支援システム研究領域 研究領域長
「スマート農業の導入が人手不足解消の切り札になるか！」

14:45～15:00 休憩

15:00～15:45 佐藤 信広（日本アイ・ビー・エム株式会社）
グローバル・ビジネス・サービス事業部流通サービス消費財事業部 部長
「食品製造業、農業分野における SmartFactory/SCM は、生産性向上・品質向上にどのように寄与することができるか！」

15:45～16:30 葦津 紗恵（株式会社三菱総合研究所）
地域創生事業本部 地域産業戦略グループ 主任研究員
「食品情報プラットフォームは流通の合理化・高度化に貢献できるか！」

16:30～16:40 総合しての質疑応答

16:40～16:50 閉会の挨拶
日本農業工学会副会長 野口 伸（北海道大学）
